

＜ 今日の説教のポイント マタイによる福音書 26 章 36～46 節＞
この箇所から教えられる 4 つのことを見ていきたい。

①その 1 祈りの手本がここにある！

私たちの祈りの手本がこのイエス様の祈りです。「願い事を神様に祈っていい。しかし神様の御心がそこにはないなら、その願い事は叶わないし、叶わなくていい。神様の御心が成りますようにと思いつながら祈る。なぜなら、神様が一番いい道を知っておられるお方だから」。そう考えながら祈りなさいと教えられる 39 節です。

②その 2 起きていられないペトロ。これが私たちの姿！

ペトロは「命をかけてあなたに従います」(35)と言ったにもかかわらず、何度イエス様から注意を受けても眠ってしまいます。起きていられなかった理由は何かと考えるより、これは私たちの姿そのものではないかと考えることの方が大事です。そう思った時に、そんなどうしようもない私たちを救うために神様が起こして下さった出来事(イエス様の誕生・十字架の死・復活の出来事)への理解が始まるからです(ヨハネ福音書 14:26)。

③その 3 エデンの園 ⇔ ゲッセマネの園 その対照性！

エデンの園での出来事とゲッセマネの園での出来事は興味深い対照性を持っています。恵まれた中に置かれているのに神様に背く人間(アダムとエバ)と、苦しみが待っているのに神様の御心に従う人間(イエス・キリスト)の対照性です。神様に背いた人間が救われるためには、神様に従い通す人間(真の人:ニカイア信条)が必要であり、それこそがイエス・キリストだったのです!(アタナシウスの表現を紹介)

④「引き渡す」に込められた神様の深い赦しの業！

「人の子は罪人たちの手に引き渡される」(45)の「引き渡す」は「私を裏切る者が来た」(46)の「裏切る」と同じギリシア語です。しかもこの出来事は、私たちの罪の赦しのために、イエス様が神様に「私の霊を御手にゆだねます」(ルカ 23:46)と叫ばれて行われた行為でもあったのです。ペトロも私たちも裏切り者であることを思う時、この出来事に込められた神様の深遠な赦しに打たれます！